

7月22日：VN指数は続落 (VN-Index -0.80%)

- VN 指数はバイデン大統領の次期大統領選の撤退やチョン書記長の死亡などが報じられたことで警戒感が増幅し、売りが大きく先行して開始した。
- 寄り付きで大きく下落した後に前営業日終値を一度超えるまで回復したが、すぐに売り圧力が強まって指数を押し下げた。
- 比較的下げ幅の少ない大型株がどうにか押し上げたものの、市場の警戒感は午後も引き続いた。
- 銀行、飲料食品セクターのみが上昇を記録したが、その上昇もわずかであった。
- 96 銘柄が上昇、350 銘柄が下落、53 銘柄が変わらずとなった。
- 流動性は 13.8%上昇し、21.1 兆ドンとなった。

VN30 指数の減少は軽微 (VN-30 -0.23%)

- 大型株で構成される VN30 指数は、12 銘柄が上昇し、15 銘柄が下落、3 銘柄が変わらずであった。
- MSN (+1.69%)、HDB (+1.40%)は上昇を記録した。
- 不調な市場の中で GVR (-5.07%)が最も大きく下落し、BVH (-2.19%)、FPT (-1.51%)も続いた。

セクター・個別株の動き

- VRE (+0.75%)は、2024 年第 2 四半期決算結果を発表した。売上高は 2.48 兆ドン（前年同期比+14.1%）、税引後利益は 1.02 兆ドン（同+2.1%）となった。同社は今年、ビンコムショッピングモールを新たに 3 つオープンしている。
- DGC (-6.02%)は、2024 年第 2 四半期決算にて、売上高 2.5 兆ドン（前年同期比+3.8%）、税引後純利益 8,700 億ドン（同-1.0%）を発表した。同社代表が 2024 年の業績目標について後ろ向きなコメントを残したことが嫌気された。

- 外国人投資家は再び買い越しに転じ、その額は 4,260 億ドンとなった。SBT (+2.70%) が再び大きく買い越された一方で、DGC (-6.02%)、VPB (0.00%)は売り越された。

ディスクレイマー

このニュースは、投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。投資に関する決定はご自身の判断でなされますようお願い申し上げます。このニュースは、信頼できると考えられる FiinPro という情報源に基づいて作成されていますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。このニュースは、Japan Securities Co., Ltd (JSI)から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。このニュースのいかなる部分も一切の権利は JSI に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。